

1. 湯元清文 日本における国際太陽系観測年

1 章 IGY 観測とその後

2. 若井 登…………… IGY の電離圏観測とその後の進展
3. 荒木 徹…………… 「世界資料センター」の設立・発展と STP データ体制
4. 近藤一郎…………… IGY と宇宙線時間変動の観測・研究
5. 日江井榮二郎…………… Toward Brilliant Science in Future

2 章 現在の最先端科学

6. 湯元清文…………… 宇宙天気研究のための MAGDAS プロジェクト
7. 深尾昌一郎…………… 赤道大気レーダーと大気上下結合過程研究
8. 寺沢敏夫…………… 宇宙空間プラズマ物理学の将来—物質粒子により宇宙を見る—
9. 田中高史…………… トポロジーのある磁気圏系における対流の発生
10. 品川裕之…………… 惑星超高層大気圏研究の将来
11. 大家 寛…………… 地球周辺空間から木星圏電磁環境へそして深宇宙の観測研究へ—惑星電波観測研究の意義と将来—

ご注文は〈誌名と通巻番号〉でご指定ください。

号外 **海洋**

ご注文は〈誌名と通巻番号〉でご指定ください。

号外 **海洋**

ご注文は〈誌名と通巻番号〉でご指定ください。

号外 **海洋**

